

地域に根差した医療・介護・福祉を担う企業を目指す

株式会社ミライシアホールディング・神山武士さん

北海道 札幌市に拠点を置き、調剤薬局事業、保育事業、介護事業等を手掛ける株式会社ミライシアホールディング。地方の生産人口の減少が深刻化するなか、雇用や副業人材活用について、代表取締役の神山武士さんにお話を伺いました。

■まず企業概要を教えてください。

弊社は、「人々の健やかな暮らしの実現に貢献すること」を経営理念に掲げ、調剤薬局事業、保育事業、介護事業を運営する会社を統括しています。メインの調剤薬局事業は北海道札幌市を中心に、北海道各地や東北地方、東海地方まで幅広く運営を行っています。

また、2023 年から薬局間で医療用医薬品の不動態在庫をマッチングする「ばくりっこ」というサービスを展開しています。薬局が登録した不動態在庫や使用量情報を独自開発したアルゴリズムで自動選定し、薬局間での医薬品の等価交換・売買を可能にするというもので、廃棄医薬品の削減に貢献したいと考えています。

弊社は調剤薬局事業から始まり、後継者のいない薬局や介護施設を事業承継する形で徐々に事業を拡大してきましたが、更に、従業員が働きやすい環境を作るために保育事業も展開するようになりました。

■都市部と地方での雇用に違いはありますか？

基本は地元の方々を積極的に採用したいと考えていますが、人材不足は深刻です。他産業では給料水準は上がっていると言われていたのですが、医療、介護、福祉分野は助成金などを活用して運営しているため、なかなかそれを給料に反映できない現状があります。

また、本社のある札幌市は生産人口が多いのですが、地方は高齢化が進み、働き手が少ないのが現状です。地方で採用が難しい場合は、地方で働いても良いという人材を札幌で採用し、派遣することもあります。また、在住することが難しいという人に対しては、例えば週の半分程度を地方で勤務してもらい、残りは別のスタッフで補うなど、フレキシブルな対応も心掛けています。

■神山さんはご自身も薬剤師でいらっしゃいますが、マネジメントなどはどのようにされているのですか？

私は、薬剤師であると同時に、経営も 14 年間経験しています。薬局経営については現場目

線と経営者目線の両面で見ることができるのは大きいと思っています。保育事業・介護事業についてはまだわからない部分もありますが、薬局経営と共通する部分も多いですね。現場には弊社の理念や考え方に共感して集まってきてくれた人材がたくさんいるので、安心して任せることができます。

■外部人材の活用についてはどう思われますか？

弊社では常勤が難しい地方にも人材を派遣するなど、フレキシブルな対応を行っていますし、外部人材の受入についても抵抗はありません。運営や雇用に関しても、全国一律ではなく、それぞれの地域の特性に合わせて行っていく方針です。雇用はそれぞれの地域で完結できるのが理想ですが、高齢化社会ではなかなか難しいですね。弊社の理念に共感していただき、一緒に働きたいと思ってくれる方がいれば、どんな経歴の方でもよいと思っています。

■今後の目標について教えてください。

まずはしっかりと地盤を固め、地域に根差した医療・介護・福祉を展開していきたいと思っています。そして、「あなたたちがいてよかった」と言ってもらえるような会社になりたいです。

【企業 HP】 <https://miraisia.co.jp/>